TOYOTOMI

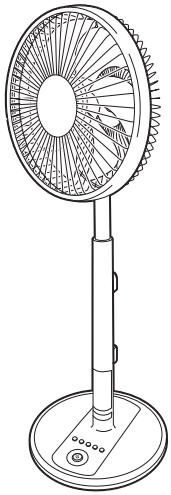
トヨトミ30cmリビング扇風機(家庭用)

型式 9696 FS-D30HE3
(エフ エス ディー エイチ イー)

(DCハイポジションリモコン式)

取扱説明書

(保証書付)
裏表紙に付いています。



目　次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1~3
各部のなまえと梱包内容 ・・・・・・・・・・・・・・・4
組み立てかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5~6
ご使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7~13
風向きの変えかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
高さ調節のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
お手入れのしかた・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
簡単な故障・異常の見分けかた ・・・・・・・・・・・15
長年ご使用の扇風機の点検 ・・・・・・・・・・・・・16
電源コードの収納のしかた ・・・・・・・・・・・・・16
保管・廃棄のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・16
仕　様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について・・・17
保証とアフターサービス・・・・・・・・・・・・・・・18
お客様相談窓口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

長年ご使用の扇風機の点検を

愛情点検

ご使用中に次のような症状がみられる場合は、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご相談ください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

このたびは、本機をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、必ずこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく使用してください。
- この「取扱説明書」は、大切に保管してください。
- 「取扱説明書」を紛失された場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 本機は一般家庭でのご使用を対象にしています。

製品アンケートにご協力ください

製品アンケートはこちらです。
https://www.toyotomi-support.com/published/questions
※通信料などはお客様のご負担になります。

株式会社トヨトミ

9696000501

安全上のご注意(よく読んで必ずお守りください。)

●お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、本機を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
●ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険(DANGER)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告(WARNING)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意(CAUTION)	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。		この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

●説明文中の**「お願い」「お知らせ」**事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。

⚠危 険(DANGER)

●異常時(こげくさい等)は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、火災や感電や故障の原因になります。
また、長年使用された場合、経年劣化により部品に不具合がおこることがあります。
その状態で使用を続けますと、事故になるおそれがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または、当社の お客様相談窓口 にご相談いただき、定期的に点検を依頼してください。



⚠警 告(WARNING)

●日本国内専用です。電源は交流100V以外で使用しない。
100V以外の電源を使うと、電気部品が過熱したり、火災や感電の原因になります。



●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない。
タコ足配線などで定格を超えると、火災や感電や電源プラグの異常発熱や変形の原因になります。



●電源プラグは、ホコリが付着していないか確認し、ガタつきのないように根元まで確実に差し込む。
ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は火災や感電の原因になります。電源プラグにたまったホコリなどは定期的(1箇月に1～2回)に掃除をしてください。



●電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。
傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、重い物を載せたりしない。また、ふすまやドアに挟まない。
使用中は、結束バンドや針金などで束ねたりしない。
傷んだまま使用すると、火災や感電やショートの原因になります。



●電源プラグや操作部を濡れた手で抜き差ししたり触れない。
感電の原因になります。



●電源コードを重い物や本機の下に踏んで使用しない。
電源コードが破損する原因になります。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。



●電源プラグの抜き差しにより本機の運転を停止しない。
火災や感電の原因になります。



●包装用ポリ袋は幼児の手の届かない所に保管する。
誤ってかぶったとき窒息し、死亡の原因になります。



●直接水をかけたり、水につけたり、浴室内などの水のかかり易い場所や湿気の多い場所で使用しない。
水がかかると、内部に浸水して電気絶縁が劣化し、火災や感電や漏電の原因になることがあります。
水などがかかったら、使用を中止してお買い求めの販売店または、当社の お客様相談窓口 にご相談ください。



●可燃性ガス(殺虫剤など)を吹きつけない。また可燃性ガスが発生する場所やたまる場所では使用しない。
万が一ガスが漏れて本機の周囲に留まると、火災や故障や変色の原因になります。



⚠警 告(WARNING)

●本機に衣類や洗たく物等を、載せない。
可動部にからまり、故障の原因になります。



禁止

●羽根やガードやスタンドベースをつけずに、高さ調節ボタンを押したり、運転しない。
けがの原因になります。
パイプが飛び出し非常に危険です。
モーター軸が回り出し非常に危険です。

禁止

●モーター部のすき間や可動部のすき間、ガードの中にピンや針など金属物等、または指を入れない。
内部に触れたり、異常過熱して火災や感電やけがの原因になります。



禁止

●改造は絶対にしない。
また修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造をおこなわない。
火災や感電やけがの原因になりますので、お買い求めの販売店または、当社の**お客様相談窓口**にご相談ください。



分解禁止

●燃焼・発熱器具の上や周辺など熱気が当たる場所には設置しない。
故障や変形のおそれがあります。



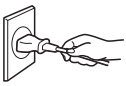
禁止

●修理は、お買い求めの販売店または、当社の
お客様相談窓口にご相談ください。
ご自分で修理をされたときに不備があると、火災や感電の原因になります。

実施

⚠注 意(CAUTION)

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜く。
電源コードを引っ張って抜くと、コードの内部が断線して発熱・発火の原因になります。



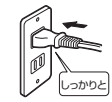
禁止

●障害物(カーテン等)の周囲や不安定な場所では使用しない。
事故や転倒や羽根の破損などの故障の原因になります。



禁止

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。
電源コードや電源プラグが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電やショートや発火の原因になります。また、コンセントの差し込みがゆるいと感じた時は工事業者に依頼してコンセントを取り替えてください。
コンセントを交換しても異常に発熱している場合はお買い求めの販売店または、当社の**お客様相談窓口**に修理依頼してください。



確認

●押し入れや家具のすき間など、狭い場所では使用しない。
発熱や発火や故障の原因になります。

禁止

●組み立てが完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まない。
●スピンナーをしっかりと締め付ける。
ガード締め付けナットやスピンナーが緩んでいると、けがや羽根割れの原因になります。

禁止

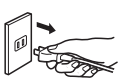
●本機を洗たく物等の下や近くで使用する場合は、細心の注意をしてください。
洗たく物等がガードの中に吸いこまれることがあり、羽根の損傷、けがの原因になります。

注意

●無理やり可動部に力を加えない。
動かなくなったらそれ以上は可動させないでください。
無理に動かすと、故障や破損のおそれがあります。
羽根とガードが接触したり、故障、羽根割れの原因になります。

禁止

●使用時以外またはお手入れをする際は、電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



電源プラグを抜く

●部屋を閉め切ったり、燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。
換気が不充分な場合は、酸素不足の原因になることがあります。

指示

●屋外で使用しない。
屋内専用です。
故障や感電の原因になります。



禁止

●本機は一般家庭でのご使用を対象にしていますので、食品・動物(飼育室等)・植物(温室等)・精密機器・コンピュータールーム・医療品等の維持、管理や保存など特殊用途では使用しない。またペット用の空調機器として使用しない。
本機自体やこれらの物の品質低下や劣化、故障の原因になります。
予測できない事故が発生するおそれがあります。

禁止

●次の場所では使わない。
燃焼器具の不完全燃焼、炎の立ち消え、引火などして火災・感電の原因になります。
- ガスレンジや石油ストーブに直接風があたる所。
- 雨や水しぶきのかかる所。
- 油、ほこり、金属粉の多い所。



禁止

●外出時や、人のいない場所では使用しない。
予測できない事故が発生するおそれがあります。



禁止

⚠注 意(CAUTION)

●**本機の移動は運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いておこなう。**
また引きずって移動しない。
畳や傷の付きやすい床、凹凸のある場所、毛足の長いじゅうたんでは持ち上げて移動してください。
けがや床を傷つける原因になります。



禁止

●**持ち運びするときは、必ず取っ手を持つ。**
他の所を持って運んだときに、手をすべらせたりして、落下や転倒の原因になります。



指示

●**異常な振動や異音がした場合は、使用を中止する。**
羽根やガードがはずれて部品の落下、けがの原因になります。



指示

●**市販の扇風機カバーをご使用のときは、ホコリなどの異物がつまった状態で使用しない。**
モーター部が過熱し、事故や故障の原因になります。



禁止

●**長時間風を直接からだにあてない。**
健康を害することがあります。
特に乳幼児やお年寄りやご病気の方にはご注意ください。



禁止

●**リモコンに使用する電池は、指定以外の電池を使用しない。**
●**電池の⊕と⊖を間違えて挿入しない。**
●**電池は充電・加熱・分解・ショートなどさせない。火の中に入れない。**

禁止

●**電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った電池はリモコンに入れておかない。**
●**種類の違う電池は使用しない。**
液漏れ、破裂したり、やけどやけがの原因になります。
液漏れした液にふれたときは、水でよく洗い流して、医師に相談してください。
本機に付着した場合は、直接液にふれないようにふき取ってください。
●**電池は、使えなくなったら、すぐ取り出して処分してください。**
電池はお子様が誤って飲み込むと危険です。
万一飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。
●**シーズン終了後、電池の液漏れを防ぐため電池は必ず抜いて保管してください。**

●**お手入れは、手袋をはめておこなう。**
けがの原因になります。

指示

●**保管するときは、器具の操作方法を知らない人(特にお子様)などが触れない所に保管する。**
けがや事故の原因になります。

指示

お願い

●リモコンはていねいに扱ってください。落としたり水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。
●リモコンの受信距離は正面で3m以下です。室内に電子点灯形(インバータ形)の照明器具がある場合は、受信距離が短くなることがあります。
●リモコンの送信部を本体の受信部に向けて操作してください。本体の受信部以外へ向けると動作しないことがあります。
●リモコンの送信部と本体の受信部との間に障害物があると作動しないことがあります。
●リモコン操作をしても作動しない場合、新しいリチウム電池と交換してください。
●リチウム電池の寿命は通常の使い方で約1年です。ただし、電池の「使用推奨期限」に近いものは、電池の交換時期が早くなります。
●同梱されている電池はおためし用ですので早く消耗することがあります。
●長期間(1箇月以上)使用しないときは、電池を取り出してください。

●初めてご使用になるときは、本機内部などから、塗料などのにおいが発生することがありますが、ご使用にともない、においが出なくなります。

●電源プラグをコンセントに差し込んだ状態で運転を「切」にしても、内部の基板などの消費電力が約1.5Wあるために操作部が少し温かくなりますが異常ではありません。
●制御基板やDCモーターに電源を供給するための電源基板が内部に組み込まれているため、運転中や運転を「切」にしていても、消費電力の熱量により本体スタンドポールの後方が温かくなります。(人肌より少し温かい程度)異常ではありませんので、安心してご使用ください。

●故障の原因になりますので、むやみにボタン操作を繰り返さないでください。

●本機は発電機の電源には対応していませんので、必ず商用電源を使用してください。

●落雷のおそれのあるときは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
落雷の程度によっては、故障の原因になります。

●テレビやラジオなどAV機器や電波時計から2m以上離して使用してください。
映像の乱れや雑音が入るおそれがあります。

●お手入れのとき、40℃以上のお湯は使わないでください。
高温のお湯を使うとプラスチックが変形することがあります。

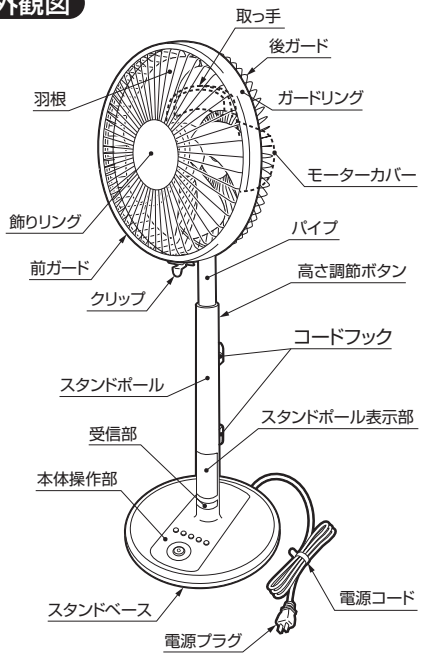
●お手入れのとき、プラスチックを痛めますので、ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉、塩素や酵素系洗剤などは使用しないでください。

●お手入れのとき、化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

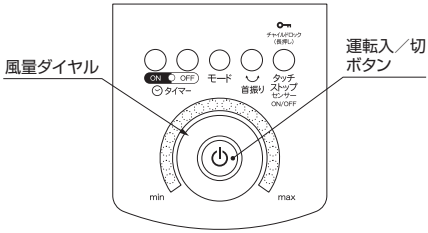
●包装箱は、保管するときに必要ですから、捨てないでください。

各部のなまえと梱包内容

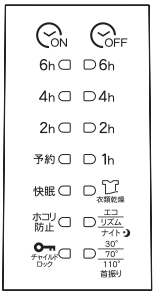
外観図



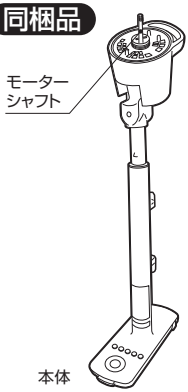
本体操作部

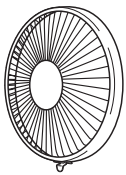


スタンドポール表示部

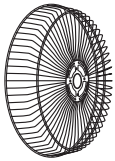


同梱品




前ガード


羽根


後ガード


スタンドベース


スピンナー
+ゆるみ止め


ガード締め付けナット


スタンドベース固定ナット

※開梱時は、本体に取り付けてあります。


保護チューブ
（サビ防止のチューブ）
※開梱時はモーターシャフトに付けてあります。
梱包部材です。

附属品



蓄光加工されていますので暗所ではある程度の時間、薄緑色にひかります。

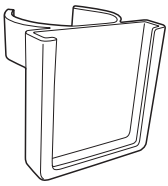
リモコン



（5ページの リモコンの準備 を参照して電池を入れてください。）

リチウム電池 1個
CR2032 DC3V

※作動確認用（おためし用）ですので、電池が早く消耗することがあります。


リモコンホルダー

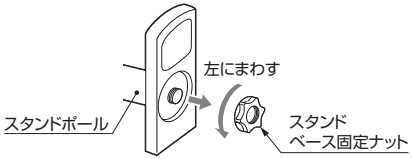
組み立てかた

お知らせ ●ガードや羽根を取り付けていない状態では、上向き下向きの角度（仰俯角度）は調節できません。モーター部が上または下を向いてしまうことがあります。

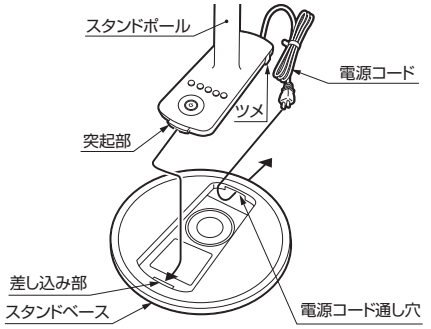
※本機を組み立てる前には、「安全上のご注意」（1〜3ページ）をよく読んでください。

スタンドベースの組み立てかた

① スタンドポールの底のスタンドベース固定ナットをはずします。

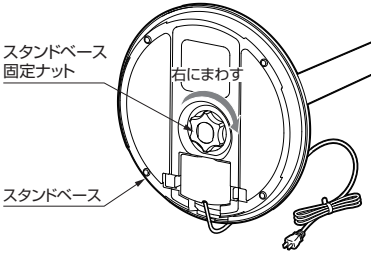


② 電源コードをスタンドベースの「電源コード通し穴」に通します。
スタンドベースを平らな安定した場所に置きます。
スタンドポール前側の「突起部」をスタンドベースの「差しこみ部」に差し込み、スタンドポールのツメ（左右2箇所）を「カチッ」と音がするまではめ込みます。

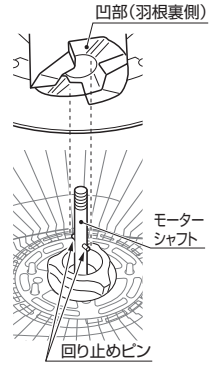


（取りはずすときは、スタンドベースの裏側からツメを押して、スタンドベースをはずしてください。）

③ スタンドベース固定ナットでスタンドベースとスタンドポールのねじ込み部分をしっかり締め付けてください。



羽根を取り付ける

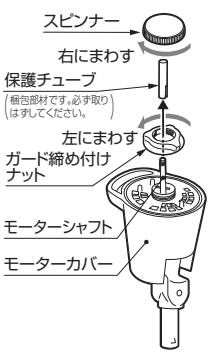


① 羽根の裏側の「凹部」とモーターシャフトに組み付いている「回り止めピン」を合せて羽根を確実に差し込みます。

② スピンナーを左にまわして、ゆるみがないように締め付けてください。

お願い
●保護チューブは羽根を取り付ける前に必ずはずしてください。

後ガードの取り付けまえに



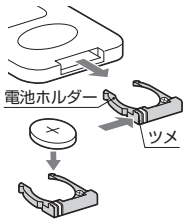
スピンナー、保護チューブ、ガード締め付けナットをはずします。

お願い
●保護チューブは保管する時のモーターシャフトの錆防止になりますので、捨てないでください。

リモコンに電池を入れる

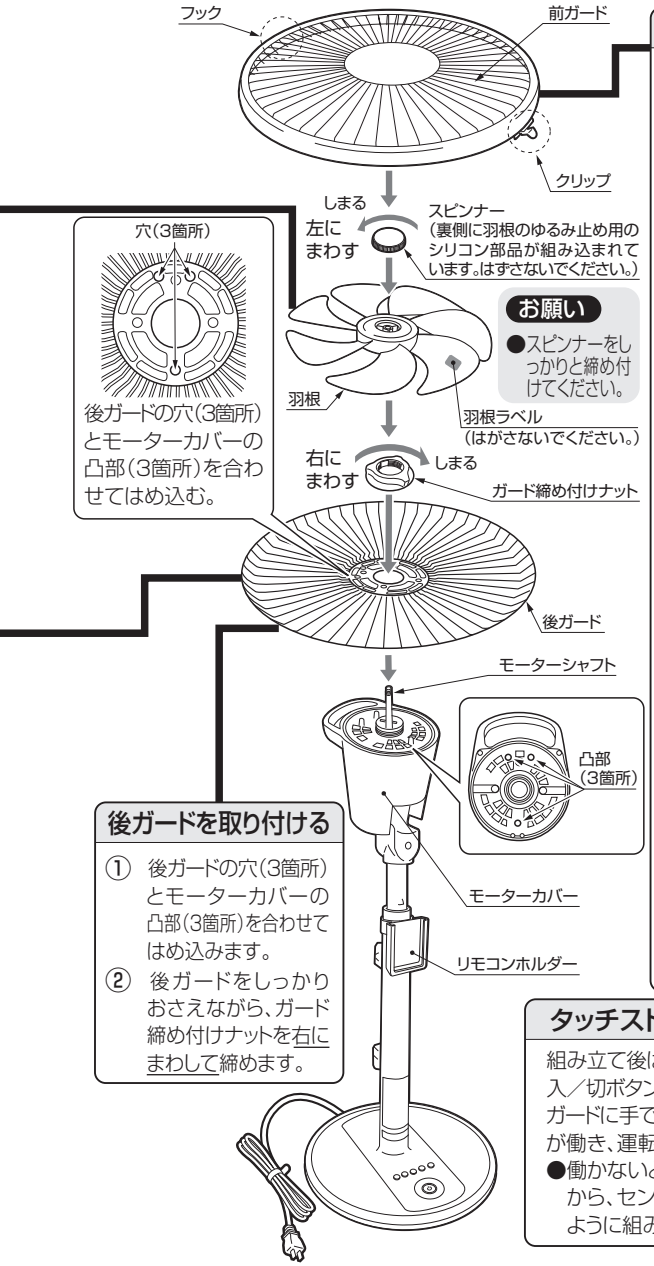
① リモコン裏面にあるツメ部分を右側へ押しながら下に引き出してください。

② リチウム電池（CR2032 3V）を「+」面を上にして電池ホルダーにはめ込みます。



③ 電池ホルダーをリモコン本体に納めます。

お願い
●使用済の電池は、各自治体の指導に従って廃棄してください。（廃棄するときは、「+」「−」面をセロハンテープなどで絶縁してください。）



お願い

●スピンナーをしっかりと締め付けてください。

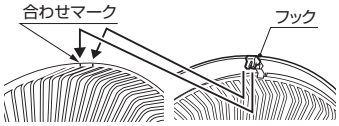
後ガードを取り付ける

① 後ガードの穴(3箇所)とモーターカバーの凸部(3箇所)を合わせてはめ込みます。

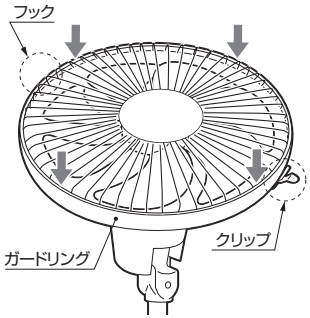
② 後ガードをしっかりおさえながら、ガード締め付けナットを右にまわして締めます。

前ガードを取り付ける

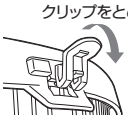
① 後ガードの「合わせマーク」に前ガードの「フック」を合わせます。



② 前ガードの全周を押えながら、フック側から順番に後ガードにはめ込みます。



③ 前ガードに付いている「クリップ」を後ガードに確実に差し込んでください。



お願い

●使用中、外れないように前ガードの全周、クリップは確実にはめ込んでください。

タッチストップセンサーの確認(安全装置)

組み立て後はコンセントに電源プラグを差し込み、「運転入／切ボタン」を押して、試運転してください。試運転では、ガードに手で軽く触れてタッチストップ機能(12ページ)が働き、運転が停止することを必ず確めてください。

●働かないときは、試運転を止め、電源プラグを抜いてから、センサー端子と取り付け部品が直接接触するように組み立てをやり直してください。(12ページ)

お願い

●ガード締め付けナットとスピンナーは、使用中、外れないようにしっかり締め付けてください。
●ガードが正しく装着されていない状態での使用は、大変危険です。しっかりとガードが固定されていることを確認してからご使用ください。
●本機が転倒すると前ガードが外れ羽根が破損するおそれがあります。
本機が転倒したときは、ガタつきなく前ガードが確実にはめ込まれていることと羽根が割れていないことを確認してください。

ご使用方法

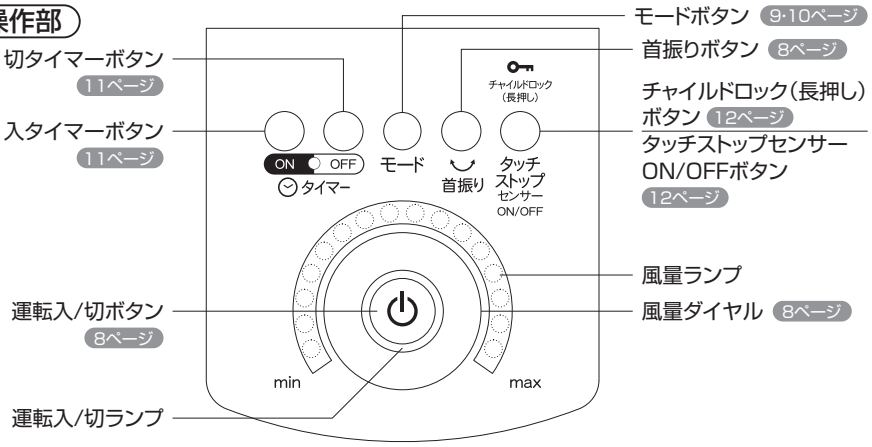
※本機をご使用する前には、「安全上のご注意」(1〜3ページ)をよく読んでください。

●コンセントに電源プラグを奥までしっかりと差し込んでください。差し込むとブザー音が鳴ります。

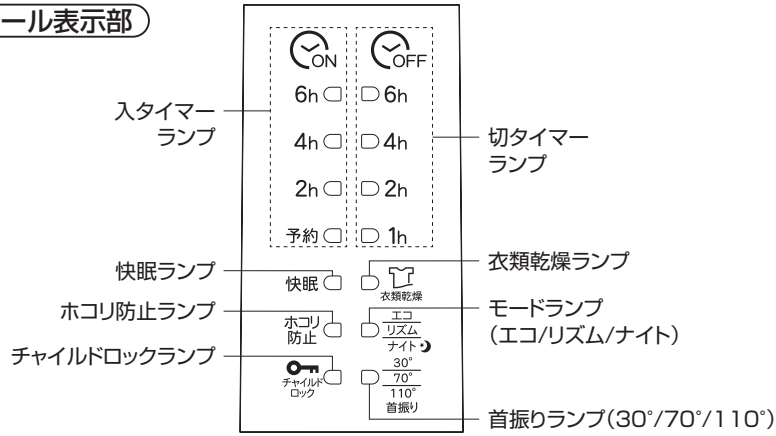
お願い

●本機が転倒したときは、前ガードが外れなく確実にはめ込まれていることと、羽根が割れていないことを確認してください。

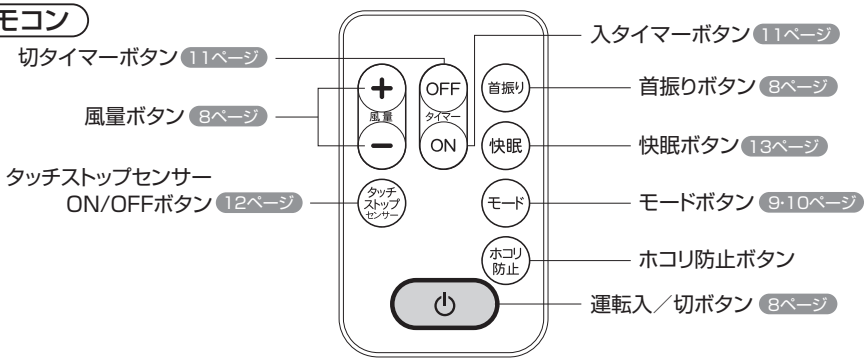
本体操作部



スタンドポール表示部



リモコン



運転入／切ボタン

●「運転入/切ボタン」を押すと、運転を開始します。再度押すと運転が停止します。
コンセントに電源プラグを差し込んだ後、「運転入/切ボタン」を押すと、**風量設定「1」**の風量で運転します。

運転状態の記憶

●本機は、停止する前の運転状態を記憶します。
●運転停止後、「運転入/切ボタン」を押すと、停止する前の運転状態(風量、エコ運転、リズム運転、ナイト運転、首振り、快眠運転、ホコリ防止運転)で運転します。
●タイマー時間と衣類乾燥運転は記憶されません。
●電源プラグを抜くと記憶されていた運転状態は消去されます。

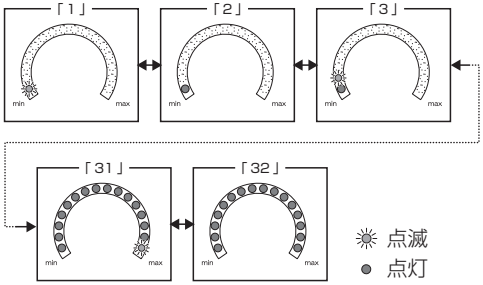
お知らせ

●ホコリ防止運転を「入」にしている場合、 運転停止後、約5秒間羽根が逆回転します。

風量ダイヤル （本体操作部のみにあります）

32段階の風量が設定できます。

●ダイヤルを右にまわすと風量が強くなり、左へまわすと風量が弱くなります。
●ダイヤルをまわすたびに風量と風量ランプが切り替ります。
●最小以下にダイヤルをまわしたときや、最大以上にダイヤルをまわしたときは、風量ランプが数秒間点滅します。



お願い

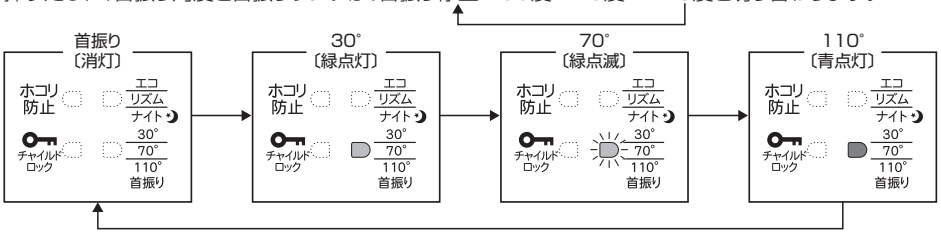
●風量ダイヤルを早くまわすと風量がかわらないことがありますので、ゆっくり操作してください。

風量ボタン （リモコンのみにあります）

●「風量ボタン」の「 ⊕ 」「 ⊖ 」を押すたびに風量と「風量ランプ」が切り替わります。
●風量ボタンを押し続けると風量の設定が1段階ずつ切り替わります。

首振りボタン

●運転中に「首振りボタン」を押すと、左右に首振りし、「首振りランプ」が点灯します。
●押すたびに、首振り角度と首振りランプが、首振り停止→30度→70度→110度と切り替わります。

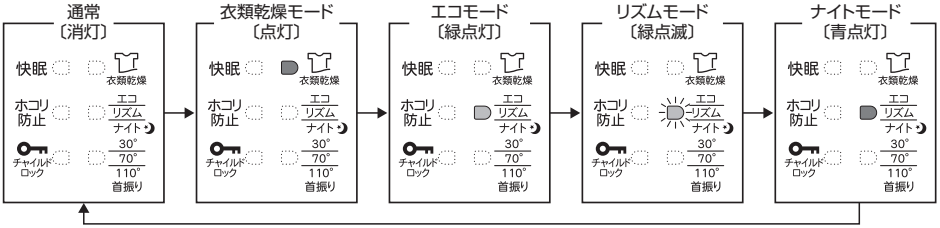


お知らせ

●一時的に首振りが止まることがありますが、首振りの初期設定位置を確認しているため、異常ではありません。

モードボタン

●運転中、「モードボタン」を押すたびに、運転モードが、通常→衣類乾燥モード→エコモード→リズムモード→ナイトモード……と切り替わります。



お知らせ

●快眠運転中に、「モードボタン」を押すとモード運転に切り替ります。

モード運転時の風量ランプ表示と風量パターン

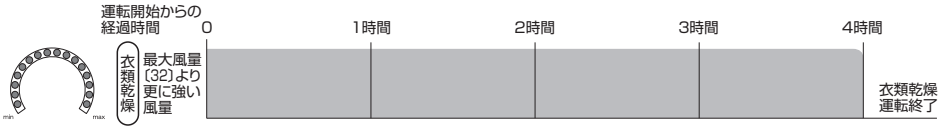
衣類乾燥運転

⚠注意 ●本機を洗たく物などの下や近くで使用する場合は細心の注意をしてください。

●衣類乾燥モードを設定したまま、「運転入/切ボタン」を押して停止したとき、衣類乾燥運転は解除されます。
●衣類乾燥運転中は「衣類乾燥ランプ」が点灯します。
●「衣類乾燥運転」は、最大風量「32」より更に強い風量で運転します。
●風向きや首振り角度を調節して、洗たく物に風を当ててください。
●衣類乾燥運転を開始してから、4時間後に自動停止します。
●ホコリ防止ランプ点灯時、衣類乾燥運転終了後はホコリ防止運転します。

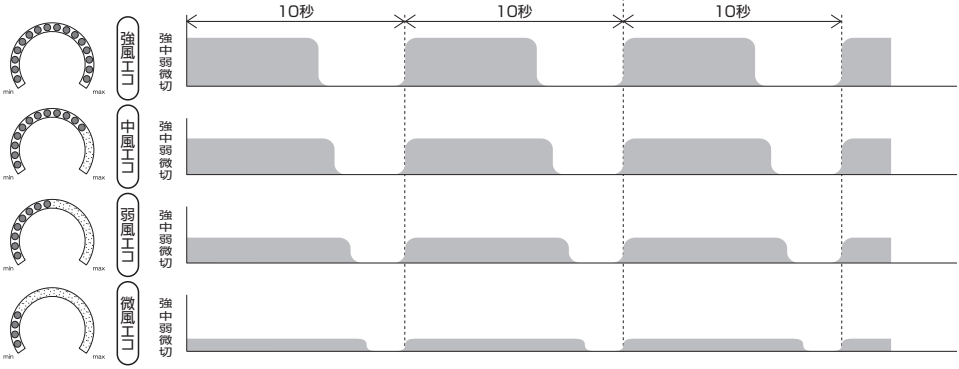
お願い

●洗たく物を乾燥させる場合は、換気しながらおこなってください。



エコ運転

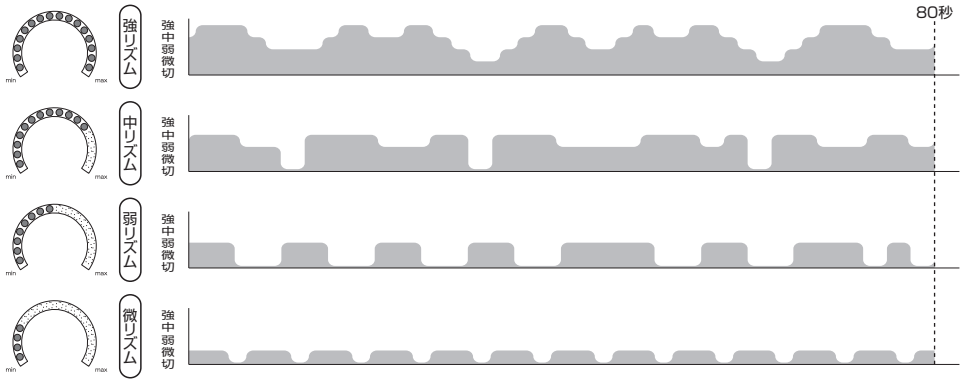
●「モードランプ」を緑点灯にすると「エコ運転」になります。
●エコ運転中は4段階の風量が設定できます。
●下図のように風量がエコパターンになります。(網掛け部は動作する風量を表します。)



※風量が切になっても羽根は惰性で回転します。
※風量が切になってもホコリ防止運転はしません。

リズム運転

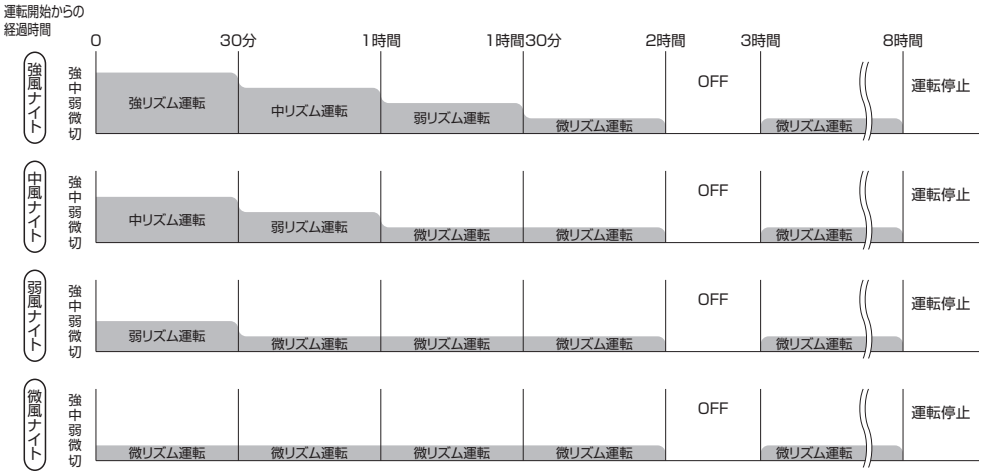
●「モードランプ」を緑点滅にすると「リズム運転」になります。
●リズム運転中は4段階の風量が設定できます。
●下図のように風量がリズミカルに変化します。(網掛け部は動作する風量を表します。)



※風量が切になっても羽根は惰性で回転します。
※風量が切になってもホコリ防止運転はしません。

ナイト運転

●「モードランプ」を青点灯にすると「ナイト運転」になります。
●ナイト運転中は4段階の風量が設定できます。
●ナイト運転は開始から8時間経過すると、ナイト運転が終了し自動的に運転を停止します。
（ナイト運転は開始から2時間経過すると一旦、運転を停止します。）
●下図のように運転が変化します。



お知らせ

●ナイト運転中に風量を切り替えても、ナイトモードに設定したときから8時間で、自動的に運転を停止します。
●ナイト運転開始から2時間経過の一旦停止のときは、ホコリ防止運転はしません。
8時間経過のナイト運転停止のときは、ホコリ防止運転をします。

切タイマーボタン・入タイマーボタン

お願い

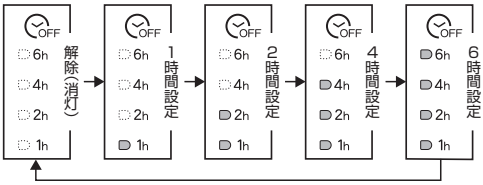
- 「切タイマー」は運転中に設定してください。(停止中は設定ができません。)
- 「入タイマー」のみを設定するときは、停止中に設定してください。(運転中は設定ができません。)
- 「切/入ツインタイマー」を使って、切タイマーと入タイマーを同時に設定するときは、運転中に「切タイマー」を設定してから、「入タイマー」を設定してください。
- タイマー設定中に電源プラグを抜いたり、停電したりした場合は、設定が解除されます。タイマーの設定をやり直してください。

お知らせ

- タイマー運転で停止したときは、ホコリ防止運転をします。

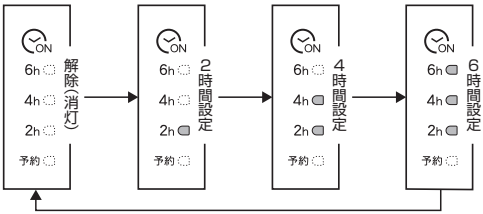
切タイマー 設定した時間が経過すると自動的に運転を停止します。

- **運転中**にリモコンの「切タイマーボタン」を押してください。押すたびにタイマー時間が切り替わり、タイマーランプが点灯します。
- 時間が経過すると「切タイマーランプ」が切り替わり、残りの運転時間の目安を表示します。

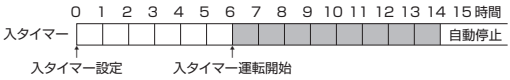


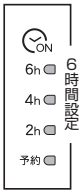
入タイマー 設定した時間が経過すると自動的に運転を開始します。

- **停止中**にリモコンの「入タイマーボタン」を押してください。押すたびにタイマー時間が切り替わり、タイマーランプが点灯します。
- 入タイマーの設定操作後、約5秒経過すると「入タイマー予約ランプ」が点灯し、入タイマーの設定が完了します。
- 時間が経過すると「入タイマーランプ」が切り替わり、残り時間の目安を表示します。
- 設定した時間が経過すると、「入タイマーランプ」と「入タイマー予約ランプ」が消灯して、自動的に運転を開始します。
- 停止する前の風量・モードで運転を開始します。



例）入タイマーを6時間後にセットした場合（網部が運転している部分）





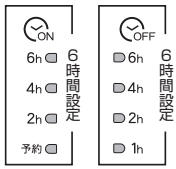
※右のイラストは6時間の入タイマーの設定が完了したときのものです。

お知らせ

- 入タイマーで運転開始後、タッチパネルやボタンの操作なく**8時間経過すると自動停止**します。
- 入タイマー設定あとに電源プラグを抜いたり、停電したりした場合は、運転しません。

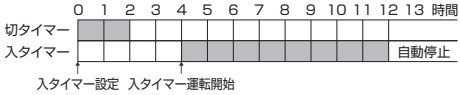
切/入ツインタイマー 切タイマーと入タイマーを同時に設定します。

1. **運転中**にリモコンの「切タイマーボタン」を押して切タイマー時間を設定してください。
2. リモコンの「入タイマーボタン」を押し入タイマー時間を設定してください。入タイマー設定操作後、約5秒経過すると「入タイマー予約ランプ」が点灯します。



※右のイラストは6時間の切タイマーと、6時間の入タイマーの設定が完了したときのものです。

例）切タイマーを2時間設定、入タイマーを2時間設定した場合（網部が運転している部分）



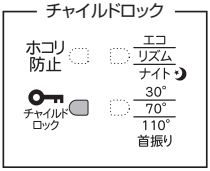
お知らせ

●切/入ツインタイマーを設定すると、切タイマー設定時間経過後に運転停止し、切タイマーで運転停止してから、入タイマー時間経過後に、運転を再開します。

例）切タイマーを6時間設定後1時間運転したところで、入タイマーを6時間設定した場合（網部が運転している部分）

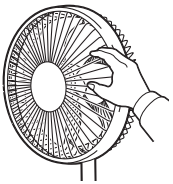


チャイルドロックボタン（長押し）（本体操作部のみにあります）



●運転中または停止中に「チャイルドロックボタン」を約2秒押し続けるとチャイルドロックの状態になります。
チャイルドロック中は「チャイルドロックランプ」が点灯します。
再度「チャイルドロックボタン」を約2秒押し続けると、チャイルドロックを解除します。
●運転中にチャイルドロックをすると、チャイルドロックの解除と運転停止以外は操作ができなくなります。
●停止中にチャイルドロックをすると、チャイルドロックの解除以外は操作ができなくなります。

タッチストップセンサー

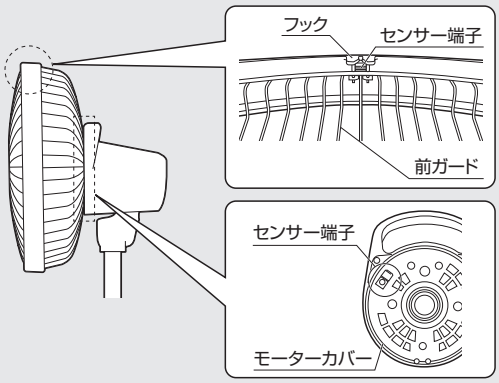


タッチストップセンサー機能について

●運転中にガードに触れると運転が停止します。
●停止後に運転を再開する場合は、「運転入/切ボタン」を押してください。

お願い

●市販の扇風機カバーを装着して、ご使用されるとタッチストップセンサー機能が働かないことがあります。
カバーやフィルターのご使用は控えてください。
●**接触不良によりタッチストップセンサー機能が働かないときは、センサー端子と取り付け部品が直接接触するように組み立ててください。**
●センサー端子は、無理な力を加えたり、変形させたりしないでください。



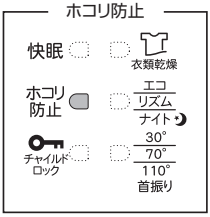
お知らせ

●タッチストップセンサーは使用する環境や条件によって感度が変わることがあります。

タッチストップセンサー機能の設定と解除

●本体操作部またはリモコンの「タッチストップセンサーON／OFFボタン」を押して、「タッチストップセンサー」機能の設定と解除ができます。「チャイルドロック」を設定しているときは、「タッチストップセンサー」機能の解除ができません。
●「タッチストップセンサー」機能を設定しているときは、「運転入／切ランプ」が青色に点灯します。「タッチストップセンサー」機能を解除しているときは、「運転入／切ランプ」が緑色に点灯します。

ホコリ防止ボタン（リモコンのみにあります）



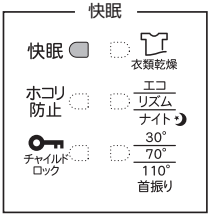
ホコリ防止運転 羽根へのホコリ付着を低減します。

●運転中に、リモコンの「ホコリ防止ボタン」を押してください。
「ホコリ防止ランプ」が点滅して、しばらくすると点灯になり、設定が完了します。

運転を停止したとき

●ホコリ防止運転を設定中に、運転を停止すると、約5秒間、左回りに回転(逆回転)します。

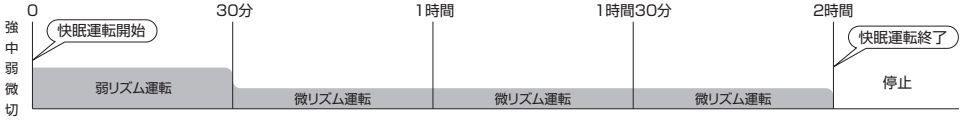
快眠ボタン（リモコンのみにあります）



●運転中にリモコンの「快眠ボタン」を押すと「快眠モード」になり「快眠ランプ」が点灯します。再度押すと「快眠モード」は解除されます。

●「快眠モード」では照度センサーがお部屋の明るさを検知し、就寝時などお部屋が暗くなると、下図の運転パターンで快眠運転をします。同時に全てのランプの明るさを自動的に減灯します。

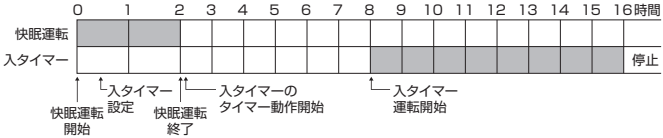
●快眠運転を開始してから、2時間経過すると自動的に運転を停止します。



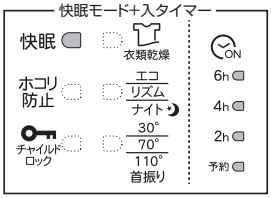
お知らせ

●「快眠ボタン」を押しても、明るいときは、そのままの運転モード・ランプの明るさを継続します。
●快眠運転が始まると、風量を変えることができません。
●「快眠モード」設定中は「切タイマー」の設定はできません。
●「切タイマー」設定中に「快眠ボタン」を押すと、「切タイマー」が解除されます。
●快眠運転中にお部屋が明るくなると、快眠運転開始時の運転モード(弱リズム)に戻り運転を続けます。

●「快眠モード」と「入タイマー」は組み合わせて設定できます。
例)「快眠モード」を設定した後、「入タイマー」を6時間後に設定した場合



※快眠運転が終了し、停止したときから、6時間後に微リズムで運転を再開します。



お知らせ

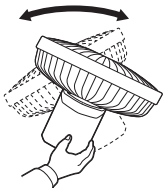
●停止中は、全てのランプが消灯します。

風向きの変えかた

※本機の風向きを変える前には、「安全上のご注意」(1～3ページ)をよく読んでください。

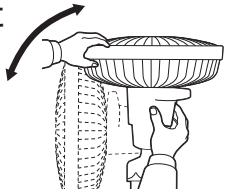
■風向きを左右に変える場合

●運転を停止し、モーターカバーを持って左・右に変えます。



■風向きを上下に変える場合

●運転を停止し、モーターカバーとガード部を持って上･下に変えます。



お知らせ

●風向きを上下に変えるとき、もしくは、左右に変えるときに「カチッ」と音がします。
これは角度調節した状態を確実に保持する為の動作音であり異常ではありません。

●風向きを変える時にガードを触ると運転が停止します。
停止してしまったら、お好みの運転を設定してください。

高さ調節のしかた

※本機の高さ調整をする前には、「安全上のご注意」(1～3ページ)をよく読んでください。

●高さ調節をする場合は、高さ調節ボタンを押しながらおこなってください。



●高さ調節は10段階です。

お知らせ

●下方向に高さを調整したときに「カチッ」と音がします。
これは調整した高さを確実に保持する為の動作音であり異常ではありません。

お手入れのしかた

※お手入れをする前には、「安全上のご注意」(1～3ページ)をよく読んでください。

本体の掃除

本体の汚れをぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき取り、その後、乾いた柔らかい布でからぶきします。(乾いた布で強くこすると傷がつきます。)

ガード・羽根の掃除

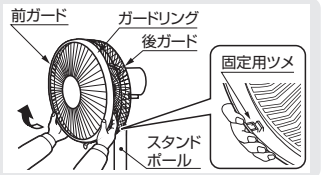
1. 前ガードをはずします。

●前ガードのクリップをはずします。



●前ガードを手前に引っ張り上げるようにして、前ガードをはずします。

前ガードと後ガードの固定用ツメの位置に手をかけて、ガードリングを左または右片側づつ広げるようにして、ツメを後ガードからはずすと前ガードが取りはずしやすい構造となっています。



2. 組み立てかた(5・6ページ)と逆の順で羽根と後ガードを分解します。
3. ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布をかたくしぼってふき取り、その後、乾いた柔らかい布でからぶきします。特に羽根は傷がつきやすいので、乾いた柔らかい布で強くこすらないでください。
4. 掃除が終わったら、組み立てかた(5・6ページ)に従ってガードと羽根を組み立てます。

お知らせ

●前ガードをはずす場合、固いことがありますが、後ガードをしっかりと持ってはずしてください。

電源プラグ、コンセントの掃除

1箇月に1～2回、電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。

簡単な故障・異常の見分けかた

症　状	原　因	処　置
運転操作をしても羽根が回転しない	●停電していませんか?	●停電復帰後に電源プラグをコンセントに差し込む。
	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグをコンセントに差し込む。
	●羽根とガードが当たっていませんか?	●正しく組み付ける。 →5・6ページ
	●リモコンの電池が古くなっていませんか?	●使用期限の過ぎていない新しい電池と入れ替える。
	●リモコン送信部を本体の受信部と違う方向に向けていませんか?	●リモコン送信部を本体の受信部に向ける。
	●チャイルドロックが動作していませんか?	●チャイルドロックを解除する。
においがする	●初めてご使用になるときは、扇風機内部などから、塗料などのにおいが発生する事があります。	●ご使用にともないにおいが出なくなります。 故障・異常ではありません。
羽根の回転がときどき止まりそうになる	●「リズム運転」「ナイト運転」または「エコ運転」ではありませんか?	●「リズム運転」「ナイト運転」または「エコ運転」は羽根の回転を止める制御をしていますので、故障・異常ではありません。
操作部やモーターカバーが温かい	●運転中は、消費電力の熱量により少し熱を帯びます。 ●待機中でも内部の基板の消費電力の熱量により少し熱を帯びます。	●故障・異常ではありません。
異音がする	●羽根はしっかりと固定されていますか?	●正しく組み付ける。 →5・6ページ
	●ガードはしっかりと固定されていますか?	
	●羽根とガードが当たっていませんか?	
本体がぐらつく	●傾いた場所に置いて運転していませんか?	●安定した水平な場所で使用する。
	●スタンドベース固定ナットはしっかりと固定されていますか?	●正しく組み付ける。 →5ページ
洗たく物が乾かない	●お部屋の換気はされていますか?	●お部屋の換気を行なってください。

上記処置をおこなっても直らないときは、お買い求めの販売店または、弊社の**お客様相談窓口**にご相談ください。

長年ご使用の扇風機の点検

愛情点検

ご使用中に次のような症状がみられる場合は、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店にご相談ください。

- スイッチを入れても羽根が回らない。
- 羽根が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、羽根が回ったり、回らなかったりと不安定。

電源コードの収納のしかた

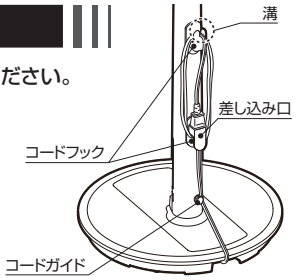
本機には、コードフックがあります。移動するときや保管するときにご使用ください。

① **電源コードをコードガイドに通してからコードフックに巻いてください。**

② **電源コードを溝に入れてから、電源プラグを差し込んでください。**

お願い

- 電源コードを巻いたまま運転しないでください。



保管・廃棄のしかた

保管のしかた

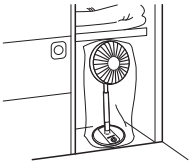
※保管する前には、「安全上のご注意」(1～3ページ)をよく読んでください。

① 「お手入れのしかた」(14ページ)にしたがって、手入れをしてください。

② **お買い求めのときの包装箱に入れるか、ポリ袋をかぶせて、湿気の少ない所に保管してください。**

- 包装箱に保管するときは、「組み立てかた」(5・6ページ)を参照してガード、羽根、スタンドベースを本体からはずしてください。

③ **取扱説明書は大切に保管してください。**



廃棄のしかた

- 製品を廃棄するときは、各自治体の指導に従ってください。
- 必ずリモコンから、電池を取りはずしてください。

仕様

型式の呼び	FS-D30HE3	
電圧(V)	100	
周波数(Hz)	50	60
消費電力(W)	18	18
回転数(rpm)	1100	
風速(m/min)	198	
風量(m^3/min)	41	
首振り角度(度)	30・70・110	
コード長さ(m)	2.5	
寸法(mm)	高さ900～1110 x 幅360 x 奥行360	
質量(kg)	4.5	
安全装置	電流ヒューズ	

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法に準じた以下の内容の表示を本体におこなっています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●標準的な使用条件 日本工業規格JIS C 9921-1 及び(社)日本電機工業会自主基準 HD-116-3 によります。

環境条件	電圧	単相100V	想定時間等	1日あたりの使用時間	8(h/日)
	周波数	50/60Hz		1日使用回数	5(回/日)
	温度	30℃		1年間の使用日数	110(日/年)
	湿度	65%		スイッチ操作回数	550(回/年)
	設置条件	標準設置(取扱説明書による)		首振り運転の割合	100(%)
負荷条件		定格負荷(風速)(取扱説明書による)			

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●温度 30℃、湿度 65%は、JIS Z 8703 の試験状態を参考としています。

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、業務用など本来の使用目的以外でご使用された場合は、「設計上の標準使用期間」より短い期間で経年劣化による火災・けが等の事故に至るおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証について

●この製品には保証書がついています。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●保証期間はお買い求めの日から1年間です。
保証書の記載内容によりお買い求めの販売店が修理いたします。
なお、修理内容によっては商品交換にてご対応させていただくことがございます

●保証期間中でも有料になることがありますので、無料修理規定をよくお読みください。

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により修理いたします。費用など詳しいことはお買い求めの販売店にご相談ください。
弊社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

●扇風機の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。
なお、故障の状況により、修理に代えて商品交換にてご対応させていただくことがございます。また、商品交換にて対応する場合、類似商品・代替商品でのご対応をお客様にお願いする場合がございます。

●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについて

使用中に異常が生じたときは、直ちに電源プラグを抜き、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
アフターサービスをお申しつけいただくときは、右のことをお知らせください。

型式…FS-D30HE3
故障状態…できるだけ詳しく
ご芳名・ご住所・お電話番号
お買い求め年月日

●アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または下記の お客様相談窓口 にご相談ください。

●ご贈答、ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

お客様相談窓口

製品についてのお問い合わせ、故障修理のお問い合わせはお買い求めの販売店にご連絡ください。
販売店にお問い合わせできない場合は、下記の お客様相談窓口 までご連絡ください。

株式会社 トヨトミ お客様相談窓口

フリーコール **0120-104-154** **FAX 052-857-1220**

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

ホームページ https://www.toyotomi.jp/

トヨトミ リビング扇風機 保証書

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い求めの日から下記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

型式 FS-D30HE3　　**保証期間 お買い求め日より1年間**

※お買い求め日　　年　　月　　日

※お客様　ご芳名　　様

〒□□□-□□□□

ご住所

〔電　話　　(　　)　　〕

※販売店名・住所・電話番号

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ず確認し、**購入証明書（領収書）を保管してください。**

【 無 料 修 理 規 定 】

1. お買い求めから上記保証期間中に、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容により、お買い求めの販売店または弊社が無料修理致します。
2. 無料修理をお受けになる場合は、本書あるいは購入日・支払いを証明するものをご提示のうえ、お買い求めの販売店または弊社にご依頼ください。
3. ご転居やご贈答品等でお買い求めの販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問い合わせください。
4. **保証期間内でも、次の場合は有料になります。**

（イ） 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従わない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
（ロ） お買い求め後の本機の転倒、落下、衝撃等による故障及び損傷。
（ハ） 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
（ニ） 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷。
（ホ） 本書のご提示がない場合。
（ヘ） 本書にお買い求め年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、または字句を書き替えられた場合。通信販売等で購入され、それを証明する商品の送り状・支払明細書の提示がない場合。ネット販売等を利用した個人売買品や譲渡品、中古品の修理。
（ト） 部品の消耗による部品交換及びメンテナンスの費用。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、弊社の**お客様相談窓口**までお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「保証とアフターサービス」の項をご覧ください。

●お客様の個人情報は、弊社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

修理メモ

株式会社 トヨトミ
〒467-0855　名古屋市瑞穂区桃園町5番17号

お客様相談窓口

フリーコール **0120-104-154**

受付時間　平日（月曜～金曜）午前9時～午後5時
※土・日・祝日は除く

FAX　052-857-1220
ホームページ　https://www.toyotomi.jp/